

<全体分析>

試験時間 2 科目 150 分

解答形式

選択, 記述, 論述

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

難度の高い考察問題が出題される。

論述量が多い。

その他トピックス

昨年同様, 指定字数のある論述問題が出題されなかった。

昨年に比べ, 論述量が大幅に増加した。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	選択 記述 論述	細胞 神経	生物	問(2)(v) 2箇所的活動電位の発生部位の間では, 両方向から伝導してきた興奮が衝突するため, 興奮が消失する。	標準
2	選択 記述 論述	酵素 発生 免疫	生物基礎 生物	問(2) 変態に伴うオタマジャクシの尾の退縮など, 他にも解答が考えられる。	標準
3	選択 記述 論述	受容器 神経 動物の行動 生態 進化	生物	問(5)(iii) 実際には, モンシロチョウの雌の翅の方が雄の翅よりも紫外線を多く反射することが知られている。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書レベルの知識を確実に身につけ, 教科書の「参考」欄などにも目を通しておこう。

論述問題が多いので, 短時間で要点をまとめて論述する練習をしておこう。

過去問の研究を十分にしておこう。